サポートルーム通信

令和７年６月吉日　No２
馬込第三小　拠点校校長
馬込小　　巡回校校長
池雪小　　巡回校校長

＜巡回校校長より＞

新年度に入り、早くもＩ学期の中間点になります。進級した新しい学年・学級でのお子様の様子はいかがでしょうか。新たな楽しみとともに、これまでにはなかった悩みが生まれることもあるでしょう。私は、こどもが出会うことの全てが、きっと将来の糧になるものと信じています。「塞翁が馬」ということわざがありますね。少なくとも大人は目先の一つ一つに一喜一憂しすぎることなく、大きな視点からこどもを支えていくことが必要です。サポートルームは、個別の支援計画に基づき、ニーズに応じたきめ細かな支援を行うことによって、一人一人の「できる」「うまくいく」という自信をじっくりとはぐくむ場であると考えます。抱える困難さの克服だけではなく、その子ならではの「強み」「可能性」に十分光を当てることも大切にしたいものです。それぞれのご家庭や学級担任等と情報共有を密にし、共に考え、共に実践し、そして共に喜び合えるような機会がたくさんできるとすてきです。

＜サポートルーム行事予定表＞

	Ｉ学期 サポートルーム終了	２学期 サポートルーム開始
馬込第三小学校	７月１４日（月）	９月４日（木）　※木曜日ですが、月曜日の授業時数確保のため、月曜日の時間割で行います。
馬込小学校	７月１１日（金）	９月５日（金）（月曜日以外の利用児童）
池雪小学校		

＜医療専門相談＞

専門の先生をお招きし、必要な支援について、助言をいただきます。

日時：①７月２８日（月）１４：００～１６：００
　　②８月２５日（月）１４：００～１６：００
担当：作業療法士

作業療法士の先生は、こどもたちの体の使い方について助言してくださる先生です。お箸の操作がうまくできない、体幹が弱く姿勢の保持ができないなどの悩みをもつこどもたちを観察し、助言をいただきます。

御希望される方は、サポートルームの連絡帳、またはお電話にて６月２０日（金）までに、御連絡ください。限られた時間で行うため、相談できる人数に限りがございますので、御了承ください。

実施については、Ｉ週間前を目安に決定し、申し込まれた御家庭に電話連絡いたします。場所については、馬込第三小、馬込小、池雪小のいずれかで行う予定です。

※ 別紙にて個人面談（7/15、7/16、7/17）のお知らせをお配りします。御希望の日時を御記入の上、御提出ください。

裏面あります。

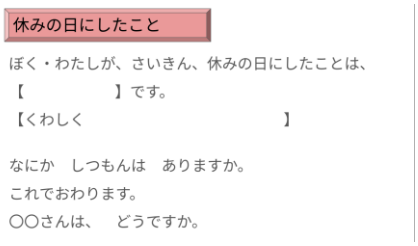
＜こんな学習をしています＞　～小集団の授業より～

サポートルームの小集団の授業は、２～５名で行っています。グループのこどもたちの実態に合わせて「話し手を見て聞く」「口を閉じて聞く」「質問する」などの授業参加に必要な「めあて」を提示しています。「背筋が伸びているね。」「目が合っているね。」など具体的な行動を認めたり、「今、気付けたね。」と、自分から行動に移せたときに言葉で伝えて認めています。「できた」「うまくいった」という成功体験を積み重ね、よい行動が継続できるように指導しています。

「テーマトーク」

最近あった出来事や自分のことをテーマに取り上げ、みんなの前で話します。「休みの日にしたこと」や「好きな食べ物」、「委員会や係活動」など、出されたテーマに沿って自分の考えを整理してみんなの前で話します。グループに合わせて、話型を提示し、担当の教員と相談する時間を取ることにより、自分の考えをまとめ、落ち着いて話せるようにしています。

また、友達の話を聞くときは、体を向けて、相手の顔を見て聞くことや、話の内容に合わせて相手に質問することにより、話し手に注目を向けながら聞く意識を高めています。



「カードゲーム」

「トランプ」や「ウノ」では、自分のカードを見られないように持つことや、相手のカードを見ないように気を付けることで他者意識を高めるようにしています。また、カードを見やすくかつ落とさないように持つことや、出せるカードを選ぶことで手指の巧緻性（器用さ）や目と手の協応性を高められるようにしています。

さらに、「ばばぬき」「７ならべ」「ウノ」では、ルールを守る、「大富豪」では、毎回追加されるルールを理解しながら進める、勝ち負けを受け入れる、「相談ばばぬき」「相談７ならべ」では、ペアで相談してカードを決めるなど、人と関わるときに必要になる様々なスキルを身に付け、楽しく活動できるようにしています。

大富豪　めあて：聞いて確かめる(出せるカード・分からないこと)

基本のルール

- 自分の番が来たら、場に出ているカードより、強いカードを出していくカードゲームです。
- 先に、手札がなくなった人の勝ちです。
- 数字の中で　１番弱いカードは３、１番強いカードは２です。
- ジョーカーは２よりも強いです。
- 場に出ているカードより、強いカードが出せないときは「パス」と言います。
- 出せるカードがあっても、残しておきたいときは、「パス」することもできます。
- ジョーカーと２であがってはいけません。

どのカードを残すか
よく考えて出そう！

追加ルール

【８切り（やぎ）】
- ８が出されたら、場にあるカードをながします。
　８を出した人から ふたたびスタートします。

【イレブンバック】
　１１(J)を出した後は、３が一番強くなります。

【２枚出し、３枚出し】
- 場に、最初にカードを出す人は、同じ数字を同時に出すこともできます。
- さいしょの人が２枚同時に出したときは、次の人も ２枚出さなければいけません。
- 足りないカードの代わりに、ジョーカーを使うこともできます。